

1 単元名 タグラグビー (ボール運動・ゴール型)

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領の2内容Eボール運動(1)技能ア「ゴール型では、簡易化されたゲームで、ボール操作やボールを受けるための動きによって、攻防をすること。」を受けて設定したものである。

本校の児童は、運動に関してとても関心が高く、校内マラソン大会、校内縄跳び大会に向けた練習にも意欲的に取り組んでいる。また、クラブ活動の種目の一つに「タグラグビークラブ」が設置されており、普段から見て親しみを持っている。

本学級の児童はこれまでに走り幅跳びや水泳のような個人スポーツの単元で、自分にあつためあてを立てて学習に取り組んできた。ボール運動のような集団スポーツの学習は5年生では経験していないが、4年生までの学習経験から協力してプレーすることの大切さを認識しており、その中で得点や勝利の喜びを味わっている。

そこで、本単元の指導にあたっては、チームの作戦に基づいた位置取りやボール操作によって得点できるボール運動(ゴール型)の特性に触れる楽しさを味わわせたい。また、一人一人がチームの作戦にかかわる自分の課題をもつことで、技能差に関係なく、チームの勝利を目指してゲームに取り組むことができるようにしたい。その結果、自分の課題を解決できれば、チームに貢献した喜びと自分の高まりを感じた喜びを味わうことができ、それは勝敗以上に価値のあることであると気付かせたい。

(2) 運動の特性

① 一般的特性

- タグラグビーは、ボールを持って広いゴールに走り込むだけで得点でき、パスは真横か後ろに行うため、ポジションさえ取れば誰にもパスを受けるチャンスがある。全員で攻撃、全員で防御をするため、自分やチームに適した課題の解決に取り組みながら、作戦を工夫したり、チームメイトとの関わり合いをしたりすることが楽しい運動である。
- タグを取る瞬間、パスが通った瞬間、相手を抜いた瞬間、走り込んでゴールした時などに喜びを感じるボール運動である。

② 児童から見た特性

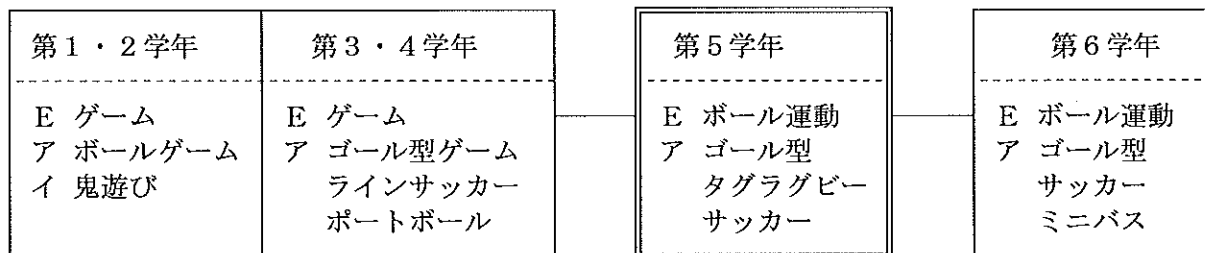
- サッカーやバスケットボールのドリブルとは違い、タグラグビーの「ボールを持って走る」ことは容易にできるので、多くの児童がボールを持ってプレーする可能性が高い運動である。
- ボールを投げる、捕る、捕まらないように逃げる、捕まえる、というように鬼遊びやボール運動の楽しさをミックスしたボール運動である。
- ボールを前には投げられず、チームの作戦や協力が試合の勝敗に大きく左右する運動であり、チームワークやコミュニケーション能力を養うことのできる運動である。

(3) 系統

《これまでの学習》

《ここでの学習》

《これからの学習》



(4) 児童の実態 (第5学年2組 男子14人, 女子12人, 計26人) 調査日7月19日
 <情意面>

- ①体育の学習は好きですか? (好き◎, どちらかといえば好き○, あまり好きではない△, 嫌い×)
 ②ボール運動が好きですか? (好き◎, どちらかといえば好き○, あまり好きではない△, 嫌い×)
 ③チームスポーツが好きですか? (好き◎, どちらかといえば好き○, あまり好きではない△, 嫌い×)
 ④ボール運動でどんな時に楽しいと感じますか? (複数回答)
 ⑤ボール運動でどんな時に楽しくないと感じますか? (複数回答)
 ⑥タグラグビーについて, どのようなイメージを持っていますか?
 ⑦タグラグビーがうまくなったり, 相手に勝つためにはどうすれば良いと思いますか?

第5学年2組 ボール運動・タグラグビー実態調査 (情意面)

	①		②		③		④	⑤	⑥	⑦
	際	理由	際	理由	際	理由	理由	理由	理由	理由
A	◎	体を動かすのが好きだから	◎	楽しいから	○	チームワークが大切だから	試合に勝ったとき	相手がずるをしたとき	ぶつかり合い	全力で相手を追いかける
B	△	運動が嫌いだから	○	おもしろいから	○	みんなでやると楽しいから	試合に勝ったとき	友達がけんかしたとき	ルールがよく分からない	速く走る
C	△	3分間走がきらいだから	△	苦手だから	×	友達に注意を受けてしまうから	いいプレーができたとき	試合に負けたとき	けがをしてしまうときもある	チームプレーをよくする
D	◎	体を動かすのが好きだから	◎	ポートボールが特に好きだから	○	あまりボールに触れないから	チームワークがよいとき	得点できないとき	楽しそうだけど難しそう	いっぱい練習する
E	○	球技が好きだから	○	前にポートボールで頑張ったから	○	みんなと協力してできるから	仲間からほめられたとき	チームがまとまらないとき	ルールがいっぱいあって難しそう	チームがまとまるよう作戦会議をする
F	◎	スポーツが好きだから	◎	友達と仲良くなるから	◎	友達と仲良くなるから	得点したとき	ボールに触れないとき	走って楽しそう	チームワークを良くする
G	◎	運動が好きだから	◎	投げたり蹴ったりするのが好きだから	◎	チームの方が仲間がいておもしろい	いいプレーができたとき	ワンマンプレーする人がいるとき	タグ取りでボールをゴールに置く	ルールを理解して作戦を立てる
H	○	あまり得意ではないから	○	自由にボールを使えるから	○	みんなのできるから	パスができたとき	マナーを守らない人がいるとき	みんなルールが分からない	タグをたくさん取る
I	◎	体育的運動が好きだから	◎	自分の思い通りにできないところが好き	◎	協力したプレーが成功するとうれいから	仲間がいいプレーをしたとき	声かけがないとき	激しいあたりのイメージ	マンツーマンを心がける
J	◎	体を動かすのが好きだから	◎	サッカーが好きだから	◎	サッカーもチームスポーツだから	仲間からほめられたとき	試合に負けたとき	前にパスができないから難しい	作戦を立てる
K	△	苦手だから	△	ボールが来るのがこわいから	△	苦手だから	仲間からほめられたとき	相手がずるをしたとき	危険, あぶない	勢いをつけて走る
L	◎	運動が楽しいから	◎	球技に興味があるから	◎	チームで戦えるから	試合に勝ったとき	いいプレーができないとき	追いかけるのが大変で疲れそう	負けても前向きに頑張ろうと言う
M	△	あまり得意ではないから	○	ポートボールが楽しかったから	○	みんなで力を合わせるのが好きだから	チームワークが良いとき	チームがまとまらないとき	ルールが分からない	パスをよく回すこと
N	◎	水泳が好きだから	◎	サッカーが好きだから	◎	休み時間によくやっているから	得点したとき	ボールにさわれないとき	ラグビーと違って楽しい	チームワーク
O	◎	動くのが好きだから	◎	ドッジボールやミニバスが好きだから	○	みんながいると応援をしてくれるから	仲間からほめられたとき	パスが回ってこないとき	ボールを投げて何かする	うまくパスをする
P	◎	運動が大好きだから	◎	いい運動になるから	◎	みんなで力を合わせるから	得点したとき	友達がけんかしたとき	初めてだから楽しみたい	協力してチームワークを深める
Q	◎	楽しいから	◎	おもしろいから	◎	みんなとやるとおもしろいから	いいプレーができたとき	ルールが分からないとき	ボールを持ちながら走る	ちゃんと先生の話聞いてからやる
R	◎	運動が好きだから	◎	ボールに触るのが好きだから	○	チームワークを深められるから	試合に勝ったとき	相手がずるをしたとき	クックルするスポーツ	練習をいっぱいする
S	○	楽しい活動が多いから	○	仲間とパスをしたりするから	◎	色々な人と取り組めるから	いいプレーができたとき	得点できないとき	ルールが難しそう	チームワークをよくする
T	◎	動くのが好きだから	◎	部活でのミニバスが楽しいから	◎	みんなで協力するから	いいパスをもらったとき	ルールが分からないとき	色々な人がぶつかったとき	チームワークをよくする
U	△	運動すると寝れるから	◎	ドッジボールが好きだから	×	みんなとけんかしてしまうから	得点したとき	友達がけんかしたとき	こわいからあまりやりたくない	チームワークをよくする
V	△	寝れるから	○	サッカーが好き	△	あまりパスが回ってこないから	試合に勝ったとき	やる気が出ないとき	ルールがややこしい	チームワークを守って協力してやる
W	◎	楽しいから	◎	楽しいから	◎	協力し合えるから	パスができたとき	試合に負けたとき	たくさん走って楽しい	パスの練習などをする
X	◎	運動が好きだから	◎	サッカーとドッジボールが好きだから	◎	チームスポーツが好きだから	得点したとき	いいプレーができたとき	けがをしそう	チームワークをよくする
Y	◎	体がスッキリするから	◎	ボールをけつたりできて楽しいから	◎	みんなと競い合えるから	仲間からほめられたとき	相手がずるをしたとき	ぶつかり合うスポーツ	こわがらないでボールを取る
Z	○	運動が好きだから	◎	点を取ったりして楽しいから	○	みんなとやると楽しいから	いいプレーができたとき	試合に負けたとき	ボールを投げたりとったりする	チームプレーをよくする

《技術面》

①止まっている状態でのパス, キャッチ (上手にできた◎, まあまあできた○, あまり上手にできない△)
②走りながらでのパス, キャッチ (上手にできた◎, まあまあできた○, あまり上手にできない△)
③タグ取り合戦で, 友達のタグが取ることができたか?
④タグ取り合戦で, タグを取られず逃げることはできたか?

第5学年2組 ボール運動・タグラグビー実態調査(技術面)

	①	②	③	④
A	○	○	タグを取ることができなかった。	2本取られた。
B	△	△	タグを取ることができなかった。	2本取られた。
C	△	△	タグを取ることができなかった。	全く取られず逃げ切った。
D	◎	○	1本取ることができた。	全く取られず逃げ切った。
E	△	△	タグを取ることができなかった。	1本取られた。
F	○	○	2本取ることができた。	全く取られず逃げ切った。
G	○	○	1本取ることができた。	全く取られず逃げ切った。
H	◎	◎	2本取ることができた。	2本取られた。
I	◎	◎	1本取ることができた。	全く取られず逃げ切った。
J	○	○	4本取ることができた。	2本取られた。
K	△	△	タグを取ることができなかった。	2本取られた。
L	○	△	1本取ることができた。	2本取られた。
M	△	△	タグを取ることができなかった。	1本取られた。
N	◎	○	タグを取ることができなかった。	1本取られた。
O	◎	◎	1本取ることができた。	1本取られた。
P	○	○	1本取ることができた。	1本取られた。
Q	○	○	1本取ることができた。	全く取られず逃げ切った。
R	○	○	1本取ることができた。	全く取られず逃げ切った。
S	◎	○	タグを取ることができなかった。	全く取られず逃げ切った。
T	◎	◎	2本取ることができた。	全く取られず逃げ切った。
U	△	△	タグを取ることができなかった。	全く取られず逃げ切った。
V	○	△	タグを取ることができなかった。	全く取られず逃げ切った。
W	○	○	タグを取ることができなかった。	2本取られた。
X	◎	○	1本取ることができた。	2本取られた。
Y	△	△	1本取ることができた。	全く取られず逃げ切った。
Z	○	○	4本取ることができた。	全く取られず逃げ切った。

《考 察》

本学級の児童の実態を見ると、「体育が好き・どちらかといえば好き」と答えている児童は76.9%である。また、「ボール運動が好き・どちらかといえば好き」と答えている児童も92.3%おり、体育学習(ボール運動)を好み、意欲的に取り組む児童が多く見られる学級であると言える。さらに、「みんなで力を合わせられるから」「みんなでやると楽しいから」という理由から、チームスポーツを好んでいる児童が84.6%いた。

「ボール運動でどんな時に楽しいと感じるか」については、「試合に勝ったとき」や「得点したとき」「いいプレーができたとき」等が多く、自分の思い通りのプレーができてチームに貢献することを期待している。逆に「ボール運動でどんな時が楽しくないと感じるか」については、「相手がずるをしたとき」や「友達がケンカしたとき」「チームがまとまらないとき」等、ルールやチームワークを無視して自分勝手にプレーする人がいることを嫌がる児童が多くいた。

タグラグビーのビデオを見せてから実態調査アンケートを取ったが、初めて行うタグラグビーについては、「ルールがいっぱいありそう」「難しそう」「よく分からない」や「ぶつかり合い」「タックルをするスポーツ」「怪我をしそうでこわい」というイメージを持つ児童が69.2%いた。そこでまず、不安や恐怖感を和らげるために、ルールをまとめた用紙を配布し、ビデオを見ながら一つ一つ確認していく。また、タグラグビーではラグビーのようなタックルはせず、相手のタグを取ることがゲームのルールであり、基本的にはぶつかり合いのないスポーツということを教えて、積極的に学習に取り組めるようにしたい。

技術面の実態調査から、止まっている状態でのパス、キャッチが苦手な児童が26.9%おり、また走りながらのパス、キャッチになると34.6%いた。これらの児童は、普段からあまりボール運動を行っていないことが原因として考えられると共に、楕円形のボールに慣れていないことが考えられる。そこで、授業の中ではまずボールに慣れるため円陣パスや横パス、後ろパスなどの練習を行い、少しずつ慣れさせていきたい。タグ取り合戦を行い、タグを取る技術や取られないように逃げる技術をみたところ、友達のタグを取ることができなかった児童でも全く取られず逃げ切った児童が15.3%いた。反対に、友達のタグを1本以上取った児童でも、逃げ切れず2本とも取られてしまった児童が15.3%いた。

タグラグビーの学習は初めてであるので、走力やパス力、キャッチ力など運動能力の個人差はあるものの、タグを取る技術や取られないように逃げる技術の差はさほど大きくないと考えられる。また、コンタクトが少なく安全である上、得点場面が簡単である。攻守混合型の種目であり、比較的作戦が立てやすいスポーツということで、チーム編成は男女混合4人1チームを基本としていく。そうすることで、パスのうまい児童、キャッチのうまい児童、足の速い児童、作戦上手な児童など、個人の能力を考えながら色々なプレーを試し、チームに合った作戦を決めるなど、チームワークやコミュニケーションの向上につなげていきたいと考えた。そして、自分やチームに適した課題の解決に取り組みながら、作戦を工夫したり、仲間との関わり合いをしたりすることが楽しめるようにしていきたい。

(5) 児童の予想されるつまずきとその手立て

予想されるつまずき	つまずきに対する手立て
○ ルールにとまどう。	○ ルールをまとめた用紙を配り、説明を加えて理解させる。また、映像を見せる中で、一つ一つルールを確認し、イメージを持たせる。
○ ボールをうまく取れず、落としてしまう。	○ ボールをよく見るとともに、手の形や向きに意識させながらパス練習を行わせる。
○ ボールを前にパスしてしまい、横や後ろに投げられない。	○ 練習の中で横パスや後ろパスを繰り返し、前にパスをしない習慣をつける。また、チームメイトはボール保持者よりも必ず後ろにいるように意識しプレーさせる。
○ 作戦の立て方や話し合いの仕方が分からない。	○ いくつかの作戦を紹介したり、チームの持ち味を考えさせたりする。話し合いでは、試合に反省（良かったところ、悪かった所・改善点）を一人ずつ言い、さらに次時の学習のめあてを書くようにさせる。

3 指導観

初めて行うタグラグビーの学習に対し、一人一人が明確なめあてを持ち、またチームとしての課題を持って取り組ませるためには、単元全体を見通せる学習計画カードを提示し、児童に学習の進め方を把握させることが大切であると考えます。

そこで、めあての達成度が自己評価できるような学習カードを使用させ、達成までの見通しを持たせたり、次時のめあてを立てやすくする。さらに、各チームごとに作戦板を用意することで、チームの話し合いや作戦会議がスムーズにでき、チームワークの向上につながると考える。学習においては、ゴール後の声かけや失敗したときの励まし等、仲間を大切にする言葉を使うように呼びかけ、そのような言葉を使っている児童を全体に紹介し、広めていく。また、各チームで、良い動きをしたり、工夫した練習をしている児童をほめ、全体に紹介し、全てのチームの能力を上げられるようにする。

チーム編成は6チームが同じ力になるように男女混合4人～5人の1チームにする。3コートの場合を設定することで全員がオフェンスやディフェンスに参加しながらゲームができる状況を作り、運動量の確保や、ボールに触れる機会を多くできるようにする。また、いつでもタグラグビーに取り組めるように、ボールやタグを休み時間も利用できるようにしておく。

そうすることによって、一人一人の児童が明確なめあてを持ち、またチームとしての課題を持って意欲的に学習に取り組めるようになるであろうと考える。

4 単元目標

《関心・意欲・態度》

- ・ 友達と協力し合いながら、めあてを持って楽しく練習や試合に参加することができる。

- ・ タグやボールを使い，ルールを守ってタグラグビーの楽しさを味わうことができる。
- ・ ゲームでの挨拶がすみやかにさわやかにできる。

《思考・判断》

- ・ チームで協力して話し合い，勝つための作戦を考えることができる。
- ・ 一人一人が自分やチームのめあてを持ち，試合の中で練習の成果を生かそうとすることができる。

《技能》

- ・ ボールを持っている人や相手チームの動きに合わせて走ったり，味方に正確にパスしたりするなどの簡単な動きを身に付けて試合をすることができる。
- ・ 相手より速く走ったり，コースを予測したりして，相手のタグを取ることができる。
- ・ 試合の状況やチームの作戦によって自分の行動を判断し，行動することができる。

5 評価規準

観 点	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能
領域ごとの 評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動に進んで取り組み，ルールを守り助け合って運動をしたり，場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルールを工夫したり，自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴール型では簡易化されたゲームで，ボール操作やボールを受けるための動きによって攻防をすることができるようにする。
単元ごとの 評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と協力し合いながら，めあてを持って楽しく練習や試合に参加することができる。 ・ タグやボールを使い，ルールを守ってタグラグビーの楽しさを味わうことができる。 ・ ゲームでの挨拶がすみやかにさわやかにできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームで協力して話し合い，勝つための作戦を考えることができる。 ・ 一人一人が自分やチームのめあてを持ち，試合の中で練習の成果を生かそうとすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボールを持っている人や相手チームの動きに合わせて走ったり，味方に正確にパスしたりするなどの簡単な動きを身に付けて試合をすることができる。 ・ 相手より速く走ったり，コースを予測したりして，相手のタグを取ることができる。 ・ 試合の状況やチームの作戦によって自分の行動を判断し，行動することができる。

6 指導計画

	はじめ	なか						まとめ
	1	2	3	4	5	6	7 (本時)	8
5 10 15 20 25 30 35 40	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ・学習のねらいと学習の進め方を知る。 ・タグやボールの使い方、ルールを知る。 ・チームを編成する。 ・学習カードの使い方を知る。 ・自己のめあてを立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の準備・集合・あいさつ・準備運動・補助運動 ・自分のめあて、チームのめあてを決める 		<ul style="list-style-type: none"> ○基礎技能習得練習 ・タグ取り合戦・円陣パス ・横パス・後ろパス ・追いかけるボール ・1対1・2対1・2対2等 		<ul style="list-style-type: none"> ○チーム力向上練習 ・チームの作戦に合った練習 		<ul style="list-style-type: none"> ○ラグビー大会をしよう ・3チームずつ2ブロックで予選ラウンド ・順位別での決勝ラウンド
		<ul style="list-style-type: none"> ○試しのゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ○ラグビーゲーム (リーグ戦形式) ・全ての班と対戦する中で、ラグビーのゲームに慣れるとともに、チームワークやチーム力の向上を目指す。 前後半6分 ハーフタイム&作戦会議5分 					
			<ul style="list-style-type: none"> ○本時のまとめ・次時のめあて・整理運動・あいさつ ・後片付け 					<ul style="list-style-type: none"> ○単元のまとめ

7 学習活動計画

週	次	時	学習活動と内容	教師の支援 (○) と評価 (◎)	教具・資料	
は	第	第	<p style="text-align: center;">タグラグビーの学習の流れを知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ・学習のねらいと進め方について知る。 ・学習カードや資料の使い方を知る。 ・タグやボールの使い方、ルールを知る。 ・チームを編成する。 ・自己のめあてを立てる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいと進め方について、資料をもとに説明する。 ○学習カードや資料の使い方について説明する。 ○タグラグビーの基礎知識やルールを説明する。 ○力が均等になるようにチーム編成をする。 ◎学習の流れや資料・ルールを理解し、自己のめあてを持つことができたか。(カード) 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画 ・学習カード ・掲示物 ・タグ ・ボール ・ビデオ
な	第	第	<p style="text-align: center;">ボールやタグに慣れて、タグラグビーをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の準備・集合・整列・あいさつ ・準備運動・補助運動を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ○素早く集合し、元気よくあいさつする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物 ・対戦表 ・学習カード
	次	時	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを確認する。 ○個人のめあて、チームのめあてを確認する。 ○全体で基礎技能習得のための練習をする。 ・タグ取り合戦・円陣パス ・横パス・後ろパス ・追いかけるボール ・1対1・2対1・2対2等 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分やチームのめあてを明確に持つように助言する。 ○気をつけるポイントや技能を明確に示しながら、リズム良く練習できるようにする。 ○チーム内で声をかけながら教え合いながら練習を進めるようにする。 ○ルールを守ることを意識しながらプレーするように声かけをする。 ○積極的に声をかけたり励まし合っている児童やチームを賞賛する。 ◎基本的なルールを理解し、タグ 	<ul style="list-style-type: none"> ・タグ ・ボール ・作戦板 ・ストップウォッチ ・ピブス 	
	第	四	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲーム ・簡単なルールでタグラグビーをする。 ・ルールや約束について問題点を話し合いながら話し合っていく。 ・前半 (7分) 			

		<ul style="list-style-type: none"> ・ハーフタイム&作戦会議 (5分) ・後半 (7分) <p>○本時の学習の反省をする。 ○次時のめあてを立てる。 ○整理運動・あいさつをする。 ○後片付けをする。</p>	<p>ラグビーのゲームをすることができたか。(観察)</p> <p>◎パス, ラン, ディフェンスなどの基礎的な技能を身に付けることができたか。(カード)</p> <p>◎自分の反省や友達のアドバイスから次時のめあてを持つことができたか。(カード)</p>	
第 三 次 時 第 七 時 本 時 7 / 8	第 五 次 時 第 七 時 本 時 7 / 8	<p style="text-align: center;">チームで協力して作戦を立て、ゲームをしよう。</p> <p>○学習の準備・集合・整列・あいさつ・準備運動・補助運動を行う。</p> <p>○本時のめあてを確認する。 ○個人のめあて, チームのめあて, チームの作戦を確認する。 ○チームごとに必要な練習をする。</p> <p>○ゲーム ・基本のルールに追加したルールを加えながらゲームを進める。 ・前半 (7分) ・ハーフタイム&作戦会議 (5分) ・後半 (7分)</p> <p>○本時の学習の反省をする。 ○次時のめあてを立てる。 ○整理運動・あいさつをする。 ○後片付けをする。</p>	<p>○素早く集合し, 元気よくあいさつする。</p> <p>◎自分やチームのつまづきや課題に気づき, それを生かした練習ができたか。(観察)</p> <p>○自分たちのチームに合った作戦を立て, 試合で実行できるよう協力し合うことを意識づける。</p> <p>◎チームの勝ちにつながる動きを考え, ゲームができたか。(観察・カード)</p> <p>◎作戦を生かしたプレーができたか。(観察・カード)</p> <p>○互いの伸びを認め合う雰囲気作りをする。 ◎自分の反省や友達のアドバイスから次時のめあてを持つことができたか。(カード)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物 ・対戦表 ・学習カード ・タグ ・ボール ・作戦板 ・ストップウォッチ ・ビブス
ま と め	第 四 次 時	<p style="text-align: center;">タグラグビー大会をしよう。</p> <p>○学習の準備・集合・整列・あいさつ・準備運動・補助運動をする。</p> <p>○学習のめあてを確認する。 ○チームごとに作戦を確認して必要な練習をする。</p> <p>○ゲーム Aブロック (○班, ○班, ○班) Bブロック (○班, ○班, ○班) 予選ラウンドは3チームによる総当たりで行う。その順位別に決勝ラウンドを行い, 1位~6位までを決定する。 予選ラウンドは1試合3分-2分-3分 決勝ラウンドは1試合4分-3分-4分で行う。</p> <p>○成績発表をする。 ○本時の学習の反省をする。 ○単元のまとめをする。 ○整理運動・あいさつをする。 ○後片付けをする。</p>	<p>○素早く集合し, 元気よくあいさつする。</p> <p>○役割分担を決め, 自分たちの力でタグラグビー大会が進められるようにする。</p> <p>◎チームの勝ちにつながる動きを考え, ゲームができたか。(観察・カード)</p> <p>◎作戦を生かしたプレーができたか。(観察・カード)</p> <p>○どの順位でも大きく返事をし, 拍手をする。 ○単元のまとめをし, 達成感を持つ終わり方にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物 ・対戦表 ・学習カード ・タグ ・ボール ・作戦板 ・ストップウォッチ ・ビブス

8 本時の指導
【第7時間目】

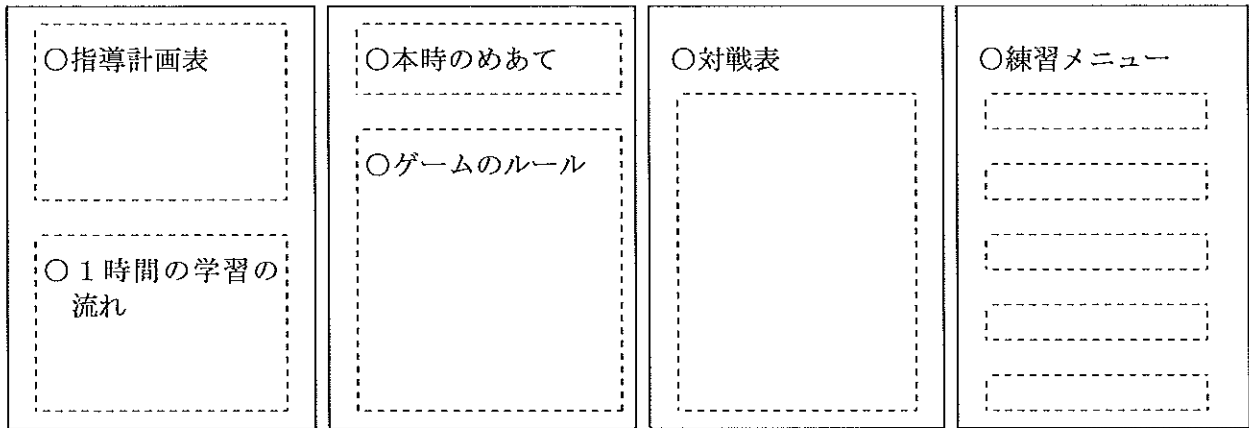
(1) 目標

- 友達と協力し合いながら、めあてを持って練習やゲームに参加することができる。
(関心・意欲・態度)
- 個人やチームのめあてに応じた練習に取り組み、ゲームの中で練習の成果を生かそうとすることができる。(思考・判断)
- どのように攻めるか守るか作戦を立て、それに従って動くことができる。(技能)

(2) 展開 (7/8)

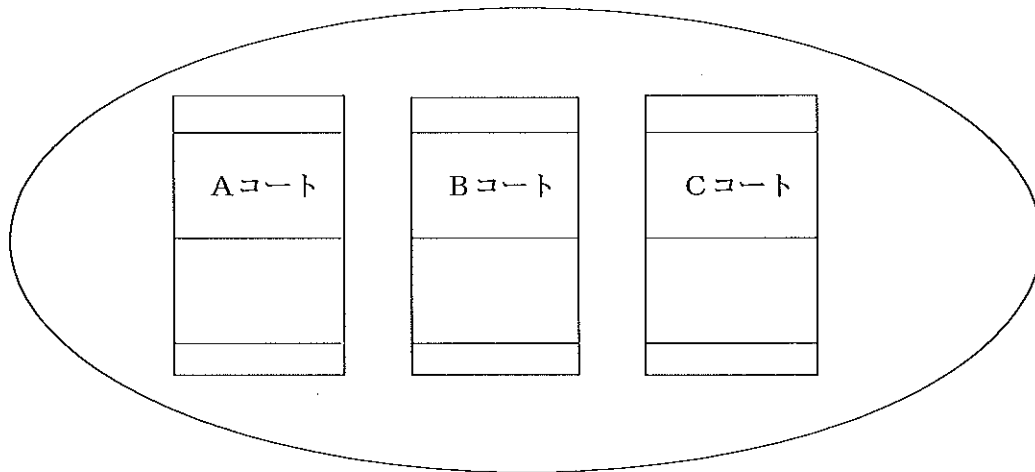
時配・形態	学習活動と内容	指導と評価 (◎)	教具・資料
1分 一斉	1 学習の準備, 集合, 整列, あいさつをする。	○ 素早く集合し, 元気よくあいさつすることにより学習への意欲を高めるようにする。	掲示物 対戦表 タグベルト ボール ビブス (6色×5枚)
4分 グループ	2 準備運動と補助運動をする。	○ グループごとにリーダーを中心に全身を大きく動かし, 緊張をほぐすようにする。	
1分 一斉	3 本時のめあてを確認する。	◎ めあてをつかむことができたか (観察)	学習カード
10分 グループ	4 個人やチームのめあて, チームの作戦を立てて練習をする。 ○ 学習カードにめあてを記入する。 ○ チーム練習をする。 ・パス練習 ・作戦に応じた戦術練習	◎ チームで協力して作戦を立て, ゲームをしよう。 ○ 自分たちのチームに合った作戦を立て, 試合で実行できるよう協力し合うことを意識づける。 ○ チームに必要な練習を行っているところを賞賛する。 ◎ チームの課題や作戦に応じて練習を選び, 練習できたか。	
19分 グループ	5 ゲームをする。(3コート使用) ・整列, 挨拶をする ①前半(7分)を行う。 ②ハーフタイム&作戦会議(5分) 反省, 作戦の立て直しをして後半に生かす。軽く動いて作戦を確認する。 ③後半(7分)を行う。 ・整列, 挨拶をする。	○ 練習したプレーを意識してゲームに臨むよう助言する。 ○ ゲームの中で声を掛け合い, 励まし合うように助言する。 ○ ゲームの様子を見ながら, よく動いている児童や声を出している児童をほめたりする。 ○ 勝ちが少ないチームや負けているチームに多く関わられるようにし, 作戦を一緒に考えたりアドバイスをしたりする。 ○ 整列, あいさつ, 勝敗に対する態度などをしっかりする。 ◎ 作戦を生かしてゲームをすることができたか。(観察, カード)	ストップウ オッチ
5分 グループ	6 本時の学習の反省をする。 ○ 学習カードに得点や勝敗, めあての反省などを記入する。 ○ チームの練習, 作戦がゲームの中で生かされたか等を中心に話し合う。 ○ 困ったことや改善したいこと等を全体で話し合う。	○ チームごとに学習カードを利用して, 作戦が良かったか, また作戦通りにできたか等チームごとに話し合い, 反省する。 ◎ チームのめあてや作戦が達成できたか。(カード) ◎ 自分や友達のがんばりに気づくことができた。(カード)	学習カード
2分 一斉	7 次時のめあてを立てる。 ○ 今日のゲームを反省し, 次時のめあてやチーム練習について話し合う。	◎ 自分の反省や友達のアドバイスから, 次時のめあてを持つことができたか。(カード)	
3分 一斉	8 整理運動, あいさつをする。 9 後片付けをする。	○ 使った体の部位は意識させ, しっかり伸ばさせる。 ○ 協力し合って安全に後片付けをする。	

9 掲示計画



10 場の設定

朝礼台



タグラグビー学習カード

色

年 組 番 :

チームの作戦	
自分のめあて	
ゲームの反省	
がんばっていた人	

(自分のチーム) (相手のチーム)

< 対戦相手 >

色 : 色

前 半	:
後 半	:
合 計	:

< 相手チームの様子 >

中心になっている人	がんばっていた人

タグラグビー学習カード

年 組 _____ 班 _____

時	対戦相手	得 点			相手チームの様子		自チームについて				
		(自チーム：相手チーム)			中心になっている人	おんぼっていた人	目 標	作 戦	反 省	おんぼっていた人	
た め し	班	前半	・	合 計	・						
		後半	・								
1	班	前半	・	合 計	・						
		後半	・								
2	班	前半	・	合 計	・						
		後半	・								
3	班	前半	・	合 計	・						
		後半	・								
4	班	前半	・	合 計	・						
		後半	・								
5	班	前半	・	合 計	・						
		後半	・								
6	班	前半	・	合 計	・						
		後半	・								
7	班	前半	・	合 計	・						
		後半	・								

○ 指導計画表

	はじめ	な か						まとめ
	1	2	3	4	5	6	7 (本時)	8
5- 10- 15- 20- 25- 30- 35- 40-	○オリエンテーション ・学習のねらいと学習の進め方を知る。 ・タグやボールの使い方、ルールを知る。 ・チームを編成する。 ・学習カードの使い方を知る。 ・自己のめあてを立てる。	○学習の準備・集合・あいさつ・準備運動・補助運動 ・自分のめあて、チームのめあてを決める		○基礎技能習得練習 ・タグ取り合戦・円陣パス ・横パス・後ろパス ・追いかけるボール ・1対1・2対1・2対2等		○チーム力向上練習 ・チームの作戦に合った練習		○ラグビー大会をしよう ・3チームずつ2ブロックで予選ラウンド ・順位別での決勝ラウンド
		○試しのゲーム	○ラグビーゲーム (リーグ戦形式) ・全ての班と対戦する中で、ラグビーのゲームに慣れるとともに、チームワークやチーム力の向上を目指す。 前後半6分 ハーフタイム&作戦会議5分					
		○本時のまとめ・次時のめあて・整理運動・あいさつ ・後片付け						○単元のまとめ

< 1時間の学習の流れ >

- ① 学習の準備・集合・あいさつをする。(1分)
- ② 準備運動と補助運動をする。(4分)
- ③ 本時のめあてを確認する。(1分)
- ④ 個人やチームのめあて、チームの作戦を立てて練習をする。(10分)
- ⑤ ゲームをする。(19分)
 - 前半 (7分)
 - ハーフタイム&作戦タイム (5分)
 - 後半 (7分)
- ⑥ 本時の学習の反省をする。(5分)
- ⑦ 次時のめあてを立てる。(2分)
- ⑧ 整理運動・あいさつ・後片付けをする。(3分)

チームで協力して作戦を立て、
ゲームをしよう。

<はじめのルール>

- ・試合開始、試合再開時はコート中央から味方へのパスによって始める。
- ・ボールをゴールラインより先に置くと1点（1トライ）となる。
- ・パスは横か後ろにする。（前パス禁止）
- ・相手にぶつかったり、洋服をつかんではいけない。
- ・パスをもらう時、ボールを前に落としてもプレーを続ける。（ノックオンはとらない）
- ・オフサイドはとらない。

<追加のルール>

<はじめの約束>

- ・ゲームの始めと終わりのあいさつを元気良くし、握手をする。
- ・自分たちで審判をし、一生懸命にゲームをする。
- ・反則したら素直に認め、よいプレーをたたえる。
- ・失敗した友達に対して、悪口を言わない。

<追加の約束>

タグラグビー作戦カード (班)

☆作戦名：
